令和４年度　事業報告書

社会福祉法人　大平福祉会（たいよう保育園）

１　総　括

社会福祉事業

令和３年度に引き続き、令和４年度も新型コロナウイルス感染症の流行により、ほとんどの行事が中止、延期、内容縮小を余儀なくされたが、子どもの成長に欠かせない行事等は、館内、玩具の消毒、日々の検温、マスクの着用、部外者出入り禁止等の感染対策を行い可能な限り行った。乳幼児期の子どもにとって、信頼のおける大人とのスキンシップは必要不可欠である。保育者は感染のリスクの不安もありながら、子どもに肌のぬくもりを感じてもらえるよう触れ合うことを大切に保育を行った。　内科、歯科健診も予定通り行うことができ、行政の指導のもと、健康増進に努めた。

職員の処遇については、コロナ特休（有給）を発生させ、職員の生活に支障のないよう努めた。研修については、集合体の研修会は中止となり、オンライン研修になった。そのため、職員全員で共有できる研修内容もあり、これは、コロナ禍でのメリットだと感じた。今年３月に開催した卒園式は感染者発生の合間をぬって無事終了することができた。

法人本部の事業運営については、監事監査、理事会、評議員会ともほぼ対面での開催で理事長から業務執行状況を報告することができた。

公益事業　　なし　　収益事業　　なし

２　職員体制（令和５年３月31日現在）

	園　長	副園長	主任保育士	保育士	栄養士	保育補助	事務員	用務員	内科医師	歯科医師	調理員	合計
正規職員	1	1	1	13	1		1					18
契約職員				8	1						2	11
パート				5				1				6
嘱　託									1	1		2
合　計	1	1	1	25	2	1	1	2	1	1	1	37

３　勤務体制等

・6:45～19:15の間、細かいシフトで勤務し開園から閉園まで連携をとり勤務することができた。

４　利用者定員・対象者

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合　計
０歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
１歳児	27	27	27	29	29	29	29	29	29	29	29	29	342
２歳児	27	27	27	27	29	29	29	29	29	29	29	29	340
３歳児	23	23	23	23	25	25	25	25	25	25	25	25	292
４歳児	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336
５歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
計	129	129	129	131	135	135	135	135	135	135	135	135	1598

5　利用日 6　利用時間	・月曜日～土曜日まで ・保育短時間認定　①7:15～15：15②8:15～16:15　③9:15～17:15 ・保育標準時間認定　7:15～18：15
7　延長保育時間	・保育短時間認定　　①15:15～19:15 ②7:15～8:15　16:15～19:15 ③7:15～9:15　17;15～19:15 ・保育標準時間認定　18:15～19:15
8　利用料	・保育料金は、市が決定した金額とし、延長保育料金については別途保護者に負担してもらい園で徴収する。
9　給食、食育便り	・鶏卵を使用せず共通給食を実施した。 浦添市統一献立表を参考に実施。（献立表は保護者にも配布した。） ０歳児は月齢に応じた離乳食を作った。 アレルギーの子への除去食、代替食も対応した。 ・保護者に対し、食育便りを発行した。
10　職員会議 ケース会議	・職員会議を行い、職員間の連携を図り、適切な役割分担をして保育に取り組んだ。 ・各クラスにリーダーを配置し、クラスを運営する。問題が発生した場合、主任保育士を中心に随時、職務会を開いた。そこで解決できないことは、副園長、園長を中心とした職務会を行い解決していった。
給食会議等	・子どもによりよい食事を提供するため、月１回給食会議を行った。
11　職員研修 （実施内容別紙の通り）	・職員がそれぞれの研修に積極的に参加し、知見と人間性を深め、保育の知識、技術及び施設運営の質を高めるため研鑽を積む必要はあるが、コロナ禍で思うように研修を受けることができなかった。
12　健康診断	・子どもの健康状態の把握のため嘱託医（小児科・歯科医）による健康診断を受けると同時に諸検査を行い、健康管理に努めた。コロナ禍ではあったが、歯科・内科各２回行うことができた。
13　災害訓練 （実施内容別紙の通り）	・災害訓練等 職員は、月１度の災害訓練を実施することにより災害時の役割分担を再認識することができた。 子どもに対しては、発達に応じて避難訓練の目的、意義を伝え、訓練に参加させることができた。コロナ禍のため、各クラス単位で行った。
14　行事等	・新型コロナウイルス感染防止のため、行事の中止、行事の縮小をした。

（実施内容別紙の通り）	しかし、子どもに必要な体験が得られるよう、行事の開催方法を模索した。
15　機関紙等	・月に１回、園便り、不定期でクラス便りを発行し、その中で子どもの活動内容の報告、流行している感染症の情報、行事予定、その他について情報を提供することができた。ICT 補助金を活用し、登降園管理、帳票管理、お便り機能システムを取り入れた。
16　法人運営	・監事監査実施日　令和４年５月28日 ・理事会開催日　令和４年６月４日 令和４年 11 月４日（決議の省略） 令和５年3月 25 日 ・評議員会開催日　令和４年６月20日 ・社会福祉事業の担い手としてふさわしい理事６名、監事２名、評議員７名、第三者委員２名の方々の協力のもと事業を実施することができた。